

6 令和2年度 東京都立千早高等学校 学校経営報告

令和3年3月31日

校長 小塩 明伸

開校17年目を迎えた本年度は、コロナ禍のため臨時休業や学校行事の中止となる中、オンラインを活用した授業の実施方法や新学習指導要領実施に向けて議論を進めてきた。また、HPのリニューアルやオンライン学校説明会などの募集広報活動など、本校をより一層アピールし入選倍率に繋げることができた。

一方、臨時休業による長期間の自宅学習、検定試験の中止・延期や大学入試の選考方法の変更、オンライン学習などの新しい学びなど、生徒にとっても戸惑いや不安の多い一年であった。

今年度、コロナ禍での学校経営、学校運営を進めるにあたり、本校の教員から陽性者が一人も出ず、自らの健康にも留意しながら教育活動に従事してくれたことに感謝したい。

今後は、間もなく20周年を迎えることを踏まえ、バージョンアップした新しい千早高校を目指し、教職員が一丸となって様々な課題を「チーム千早」として迅速かつ組織的に解決できる体制を構築する。

以下に、令和2年度の取組とその成果等について報告する。

1 今年度の取組と自己評価

(1) 教育活動及び重点目標への取組と自己評価

	取 組	自己評価
学校経営 (学校運営)	<p>①生涯にわたり学び続けるための「学びの基礎・基本」が宝物として、生徒たちに根付いていくことを願い、新学習指導要領に基づくグランドデザインから、カリキュラム策定を行う。</p> <p>②本校の特色を理解した意欲ある生徒を安定的に確保するため、広報活動を計画的に強化する。</p> <p>③教員の授業力向上を図るため、教科主任を中心とした各教科における人材育成、授業公開や若手教員研修を活用した教員相互による授業参観を実施する。</p> <p>④「OJT診断基準」や「執務ガイドライン」、「経営参画イドライン」に基づき、会議・委員会等を効果的に活用して校内OJT体制の充実を図る。特に拡大分掌会の充実を推進する。</p> <p>⑤日常的なクリーンデスクを励行し、東京都の個人情報取扱基準を含む「千早ハンドブック（校内諸規定集）」を活用・遵守して学校の保有する生徒の個人情報を適切に管理する。また、帳票類を適切に作成し管理する。</p>	<p>①令和4年度から実施される新学習指導要領を踏まえ、教育課程検討委員会を通じて、グランドデザインの再確認を行い、教職員間で共有することができた。また、令和4年度から45分7時間授業を実施することを決定した。次年度は、45分授業での教育課程編成及び観点別評価の構築等を検討する。</p> <p>②これまでの取組に加え、2回にわたるHPのリニューアル及びアップデート回数の増加、学校紹介動画の配信、東部地区への中学校重点訪問、オンライン学校説明会等の実施により、推薦及び一次で高い入選倍率を確保することができた。今後は、安定的な倍率確保に向けて訴求力のある募集広報活動を再構築していく。</p> <p>③若手教員の研究授業を中心に、教員相互の授業参観を実施した。コロナによりオンラインを活用した学習への取組が始まった。今後は、オンライン学習の効果的な取組を進めるとともに、所謂、ハイブリッド学習の定着及び授業力の向上が課題となる。</p> <p>④学校運営が組織的ではなく、一部属人的になってしまっている傾向があった。報連相や連携調整、計画性の遅さが課題として浮き彫りとなった。今後は、各職層や役割を明確にするとともに、会議を60分以内するという意識を徹底させる。</p> <p>⑤OPや職員連絡会でサービスや個人情報管理の徹底は周知できている。「千早ハンドブック」の改訂版が年度内に完成できなかった。今後は、サービス等は引き続き徹底を図るとともに、「千早ハンドブック」改訂版の早急な作成を行う。</p>
	<p>①各教科でグループワークやプレゼンテーション等を取り入れることにより、思考力や判断力、表現力を高めるとともに、生徒の主體的な質の高い深い学びを引き出していく。</p>	<p>①教科特性もあり、積極的に実施している科目もあれば、もう一步という科目もある。今後は、新学習指導要領を踏まえ、教科横断的な取組を進めていく中で、主體的・対話的で深い学びを実現させていく。</p>

<p>学習指導</p>	<p>②国語と英語の必履修科目では、3年間を通して習熟度別の少人数授業を展開することにより、各教科の基礎力の定着を図り、生徒の学力向上への一層の効果を上げる。</p> <p>③第1・2学年生徒が学習する必履修科目について、本校独自の「学力スタンダード」を策定し、明確な学習目標に基づいた指導と評価を組織的・効果的に行う。</p> <p>④「使える英語」を楽しく学習させるため、学校設定科目「ERP（多読と発表）」の組織的な指導体制の充実を図るとともに、生徒の変容や学習の成果を検証して発展的な学習につなげる。</p> <p>⑤実社会との関わりを通じてビジネスの学習を深化させるため、企業やNPO、地域人材・資源との連携を図りながら、幅広いソーシャルビジネス等を取り入れた「千早ビジネス教育」を展開する。</p>	<p>②「学びに向かう力」への醸成は効果があり、積極的に検定試験を受験する生徒も出ている。今後は、少人数による効果を検証し、生徒の個別最適化が図れる指導方法を検討する。</p> <p>③今年度、本校独自の「学習スタンダード」は策定できなかった。次年度以降、新学習指導要領の実施に併せて、指導と評価の一体化が図れるようにしていく。</p> <p>④海外修学旅行が実施出来なかったが、2学年の「ERP」でそれを補う発展的な取組をした。一方、指導内容及び指導方法については、従前を踏襲している傾向がある。今後は、「ERP」を本校の中核となす科目として再確認するとともに、生徒の変容や学習の成果を検証して発展的な学習につなげる。</p> <p>⑤ビジネス（商業）としての「不易」の部分を徹底し、また、「流行」の部分はチャレンジする意気込みをもって、意欲的に進めた。特に、SDGsへの取組を本校ビジネス教育の一つの柱にすることにした。今後は、ビジネス科目の3年間に渡る学びの体系化を教育課程に反映させていく。</p>
<p>生活指導・進路指導</p>	<p>①グローバル人材としての基礎となるタイムマネジメントやルール・マナーを身に付けさせるため、正門指導、朝礼、集会、学校行事、課外授業等を通して、基本的な生活習慣を確立させるとともに、規律ある学校文化の定着を図る。</p> <p>②「生活指導統一基準」に基づき、千早生として身に付けるべき規律・規範等を明示し生活指導の充実を図る。</p> <p>③スクールカウンセラーによる第1学年生徒の全員面接や保護者・関係諸機関との連携等を図り、生徒の心身共に健やかな成長を促進する。</p> <p>④「自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱」に基づき、自殺対策に資する教育の推進に向け、全校朝礼で必ず生命尊重に触れた講話をする。</p> <p>⑤将来の進路選択及び進路実現に向けて学ぶ目的を段階的に育成するため、「千早進路ロードマップ」に基づき、学年別進路セミナーや進路模擬試験、卒業生講話等を系統的・計画的に実施する。</p> <p>⑥生徒の多様な受験を支援し、進路決定を実現するため、小論文対策委員会の充実を図り、全教員が横断的に小論文・面接等の進路指導に関わり、分野別や学部別等の個別指導を組織的に行う。</p>	<p>①②学校全体としては活気がありながらも落ち着いた雰囲気醸成している。遅刻する生徒や服装等の乱れを指摘される生徒もおり、規律ある学校文化の確かな定着までには至っていない。今後は、あらゆる教育活動を通して、保護者と連携しながら基本的な生活習慣を確立させるとともに、千早生として身に付けるべき規律・規範等を明示し生活指導の充実を図っていく。</p> <p>③④スクールカウンセラーによる1学年生徒全員面接は実施した。また、HRや集会などを活用して、生命尊重やメンタルに触れた話などを行った。今後は、引き続き、あらゆる機会を通して、生徒のサインを見逃さないようにしていく。</p> <p>⑤進路指導部が中心となり、様々な進路行事を意図的、計画的に行い、生徒や保護者への意識付けを行った。その結果、昨年度より進路決定率を上回ることができた。今後は、「千早進路ロードマップ」に代わる進路の指針「千早13ステップ」を策定し、大学進学向上及び専門学校進学減少を進めていく。</p> <p>⑥今年度も引き続き全教員による「小論文チーム」の実施により、生徒への個別指導を行い、進路実績に貢献することができた。今後は、様々な小論文や面接等に対応できる教員の力を育成するためのプログラムを検討する。</p>
<p>特別活動・その他</p>	<p>①ビジネスコミュニケーション科としての個性化・特色化をより一層図るため、「英語」と「ビジネス」をはじめとする各教科等が様々な形で融合した教育活動を組織的に展開する。</p> <p>②世界規模の視野で物事を考え、地域の視点で行動する能力を育成するため、地域や関係諸機関、SPA保護者の会、人材バンク等と連携し、「グローバル」な視点での教育活動を継続する。</p>	<p>①教科特性もあり、積極的に実施している科目もあれば、もう一步という科目もある。今後は、新学習指導要領を踏まえ、教科横断的な取組を進めていく中で、主体的・対話的で深い学びを実現させていく。</p> <p>②コロナ禍で取組が限定的であったり、実施することが困難な状況ではあったりしたが、その中でも豊島区や地元商店街との連携を通して、地域への社会貢献を行うことができた。今後は、SDGsの視点も視野に</p>

<p>③東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会を直接観戦する体験を通じて、生徒一人一人に、人生の糧となるかけがえのないレガシーとして、千早が実践してきた様々な特色ある教育活動を定着させる。「知」「徳」「体」のバランスが取れ、異文化理解や日本の伝統文化への理解を図り、「おもてなし教育」を推進し、「アクティブプラン to 2020ー総合的な子供の基礎体力向上方策（第3次推進計画）ー」に基づき、「栄養・運動・休養（健康三原則）」を旨とし、朝食摂取率の改善・向上を図り、体力合計点を体育授業・総合的な生徒の部活を通して都平均値あたりまで近づける。</p>	<p>入れた取組を進めていく。 ③アセアン学生との和太鼓による文化交流を通して、東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとしての異文化理解や日本の伝統文化への理解を深めることができた。また、体力テストは、3学年女子が都平均値を超えており、他は都平均値より若干下回っている程度である。今後は、体育の授業は勿論、部活動への加入等など体育的な取組をこれまで以上に進め、都平均値を上回るようにする。</p>
--	--

(2) 数値目標の達成状況

	項目	目標 ※()は昨年度	実績
入学時	①推薦入試倍率	3.3倍以上 (2.51倍)	3.35倍
	②学力検査倍率	1.33倍以上 (1.33倍)	1.45倍
在学时	③一般需要費のセンター執行割合	100% (97.9%)	99.9%
	④生徒による授業評価の満足度	90%以上 (83.6%)	86.3%
	⑤家庭等での学習時間	60分以上 (37分)	39分
	⑥教育相談の肯定的評価	80%以上 (59.0%)	59%
	⑦部活動加入率	80%以上 (77.0%)	67%
	⑧夏季英国研修参加者	20名以上 (29名)	0名 (未実施)
	⑨実用英語検定準2級以上受験者	300名以上 (263名)	292人
	⑩クラス1日当たり遅刻者数	1人以下 (2.2人)	1.4人
	⑪全商簿記検定3級以上合格者	200名以上 (179名)	130名
	卒業時	①進路決定率	100% (89.9%)

2 数値で見る学校経営（過去5年間）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入選倍率	推薦	2.90倍	2.84倍	2.59倍	3.00倍	2.51倍	3.35倍
	学力	1.41倍	1.44倍	1.03倍	1.33倍	1.33倍	1.45倍
	中学校長会調査	1.15倍	1.12倍	0.94倍	1.18倍	0.96倍	1.27倍
進路別卒業生数	大学	137名 (68.6%)	121名 (60.2%)	122名 (60.7%)	113名 (57.1%)	124名 (62.0%)	
	短大	5名 (2.5%)	11名 (5.5%)	8名 (4.0%)	10名 (5.1%)	7名 (3.5%)	
	専門学校	32名 (16.1%)	42名 (20.9%)	43名 (21.4%)	51名 (25.8%)	52名 (26.0%)	
	就職	3名 (1.5%)	4名 (2.0%)	2名 (1.0%)	7名 (3.5%)	3名 (3.5%)	
	その他	22名 (11.1%)	23名 (11.4%)	26名 (12.9%)	17名 (8.5%)	14名 (7.0%)	
	計	199名	201名	201名	198名	200名	
英検準2級以上受験者	英検準2級以上受験者	330名	419名	323人	263人	292名	
	英検準1級	2名	4名	0名	0名	4名	
	英検2級	54名	36名	50名	29名	32名	
	英検準2級	95名	106名	58名	53名	56名	
	英検準2級以上取得卒業生	136名	113名	115名	117名	104名	

	全商簿記1級	19名	21名	18名	10名	17名	
	文化祭来場者	2,251名	2,198名	2,359名	1985名	0名(未実施)	
	学校図書館貸出冊数	2,190冊	1,832冊	1,568冊	1,227冊	538冊	
	生徒による授業評価(満足度)	83.7%	87.3%	85.4%	83.6%	86.3%	

3 特色ある教育活動の主な実績

<p>○部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子バレー部→都高体連主催 全日本高校選手権大会予選 都ベスト24 ・演劇部→高等学校演劇コンクール都中央地区大会最優秀 関東大会進出 →高等学校演劇コンクール(関東大会) 優秀賞 全国大会進出 <p>○地域貢献・交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CBP→「2020 SAGE JAPAN CUP」準優勝(世界大会でSDG'S16賞) →知的財産学習(世界知的所有権機関、内閣府、中大杉並高) →花農家支援プロジェクト(愛知県田原市、成蹊大学) →「親子ふれあい防災スポーツフェスタ」(豊島区) ・「人間と社会」→学校近隣地域清掃(1学年全員) →避難所体験(池袋消防署)(1学年全員) ・「コミュニティデザイン」→豊島区地域文化創造館活性化提案活動プロジェクト ・ダンス部、吹奏楽部、和太鼓部、軽音楽部参加(豊島区文化イベント) ・和太鼓体験活動による日本とアセアン学生の文化交流(外務省) ・東京都青少年健全育成成功労者等表彰(模範青少年) <p>○「東京グローバル10」事業関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的視野を有している講師からの講演会 ・ダンス部、吹奏楽部、和太鼓部、軽音楽部参加(豊島区文化イベント) ・和太鼓体験活動による日本とアセアン学生の文化交流(外務省) ・海外大学等進学体験型講座 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都教育委員会児童・生徒等表彰 ・応急救護訓練に係る感謝状(池袋消防署) ・年金セミナー(池袋年金事務所) ・国際理解セミナー(JICA) ・異文化理解セミナー(本校外国語講師及び外部講師) ・消費者教育出前授業(都消費者生活総合センター) ・観光予報Data Scienceアプリを活用したSTEAM&探求学習プログラム(「観光」で実施) ・高校生起業ゼミ→CBPで実施(株)ガイアックスと連携 ・オリパラ教育→オリパラ教材活用プロジェクト(「ビジネス経済応用」で実施 パナソニックと連携) ・「マスコットキャラクター名称募集」への応募(台東区)(「課題研究」商品開発で実施) ・「高校生ビジネスアイデア・コンテスト」への応募(桜美林大)(「課題研究」商品開発で実施)
